令和8年度版「学力向上ポートフォリオ（学校版）」【片柳小】

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する資質・能力	(1)学習の基盤となる基礎的な知識および技能 (2)根拠に基づき自分の考えを構築・表現する力
⇓	
実施する学力向上策【時期・頻度】	(1)ICT等を活用して自分のペースで習熟できる時間を確保する【単元で1回以上】 (2)国語の「書く」活動において、「本文の言葉やデータ等」を根拠として、文章にまとめる活動を行う【単元で1回以上】

⑤	年度末評価	
学力向上策の実施状況	評価(※)	
⇓		
今年度の成果と次年度の課題		

※評価　A 8割以上（達成） B 6割以上（おおむね達成） C 6割未満（あと一歩）

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	国語の「書くこと」の領域において、全国の平均正答率を下回り課題がみられた。特に「引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題において課題がみられた。 算数の「直方体の箱の形を構成する面について理解しているかどうかをみる」設問については、全国の平均正答率を上回った。 領域を問わず、記述式の設問については、全国の平均正答率を下回った。
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	国語・算数を問わず、記述して解答する問題において正答率が低く、無解答率が高いことから、自分の考えを文章を書いて伝えることに苦手意識をもっている児童が多いことが考えられる。

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	

③	中間評価	
学力向上策の実施状況	評価(※) B	算数の学習を中心に、単元の終わりに習熟の時間を取ることがおおむねできている。 書く活動については教科を問わず、自分の考えを文章にまとめる活動を進めている。
⇓		
学力向上策の見直し	変更なし	

※評価　A 8割以上（達成） B 6割以上（おおむね達成） C 6割未満（あと一歩）